

ウイルス感染対策

11月に夏を経験するのは初めてではないかと思いますが、暖かい秋でした。12月はどうなるのでしょうか。寒さと乾燥はインフルエンザが増える条件ですが、新型コロナもそのようです。診療所の入り口での ORT を用いた検査では最近では 6 割から 9 割の方に新型コロナに対する抗体がみられます。短い方で 10 日ほど、長い方では 8 か月間抗体があります。たいてい 2 か月前後で抗体が消えていました。長い間抗体がある方は、常に多くの人に出会うお仕事をされている方です。うちの職員も毎日検査をしています、約半数が抗体を持っています。消えたりまたしばらくしてできたり、と様々です。普通の感染防御をやっていますが、体内のウイルスは証明できないのです。もちろん、残りの半分の職員に感染することもないので。抗体のある方にお伺いしても、いつ感染したのか症状も無くわからないという方がほとんどです。

では、インフルエンザはどうなのでしょう。今年、インフルエンザは少ないと言いますが、少ないながら、当診では H1N1 の A 型インフルが 3 人その他のインフルが 3 人いました。熱や咳、鼻水等明らかな症状がある方の診察の中で原因を調べていってわかったものです。夜発熱して翌日の午前の診察を受けた方は、車の中で待ってもらい他の方への感染に留意し、調べました。新型コロナでもその他のウイルスでもなく H1N1 インフルでした。マスクとアルコールの手指消毒はしていましたが、職員一人と私が感染しました。ワクチンが始まる前です。その経過がどのようであったかを振り返ってみたいと思います。夜診のない日であったのが幸いでした。4 時間ほどして寒気が襲ってきました。それも手足の寒気ではなく背骨を中心の寒気です。発熱は無く、しんどさも無く、ただ寒気が異常なだけでした。ウイルスはどこにいるのかと ORT で調べました。背骨付近にも、咽頭、扁桃、気管、肺にもウイルスは認められず、左の鼻と副鼻腔の粘膜に H1N1 ウイルスがいました。必要なものを調べました。ビタミン C は 1000 mg 天然のものが必要でした。レモンマートルも熱いお湯で溶かして小さじ半分服用、しその実油必要となったので、ポテトサラダを作りたっぷりのしその実油を食べました。ビタミン C は 2 時間後にはまた 1000 mg 必要になり服用しました。熱めのお風呂につかりすぐ寝ました。夜ウイルスはどうなったのか調べました。鼻からはいなくなっていました。のどの痛みは無かったのですが、喉頭の左側にウイルスがいました。朝方、ウイルスはどこに？と調べましたがどこにも見当たらず、H1N1 の抗体を調べてみたら、8/32 ありました。抗体ができかかっていたのです。仕事も出来る状態でした。その日の夕方調べますと、抗体は、32/32 充分できていました。感染した職員の方も、同じような経緯で抗体ができていました。初期対応ができなかったら、発熱などの顕性感染を起こしていたでしょう。ご参考になれば幸いです。